

徳島県市部地区・郡部地区タクシー利用者懇談会における主な発言要旨

○浦川（徳島県タクシー協会副会長）

運転者が高齢化し不足しており、現在運転者は48名いるがタクシーは20台遊んでいる状態である。配車の電話が鳴っても要望に応えられない。加えて透析の患者用に5台用意している状態である。

運転者の募集をする場合、ハローワークや企業説明会で面接をしている。2種免許取得には228,000円必要で、10日間の講習、免許取得期間の日当も支払うと一人30万円はかかる。会社としては辞めないよう2年間は拘束しているが、それまでに辞める人もいる。宮崎県は免許取得に10万円の補助が出ているようである。

65歳以上の運転者は嘱託アルバイトとして全員保険はかけており、年金をもらいながらタクシーに乗っている。アルバイトにした場合、売り上げは下がるがアルバイトを使うしかない。生活保護の方にも声をかけている状態である。

女性ドライバーは4人いるが、固定給と歩合の人がいる。8時間勤務と週2日休みで15万円支払っている。8時から16時勤務は夜の仕事が無いので売り上げは望めない。また、運転者には制服の支給と無事故表彰も行っている。

環境対策として1台500万円の電気自動車を2台購入し、設備費にも130万円ほどかかったが、運転者の売り上げも伸び助かっている。

○花岡（徳島県タクシー協会副会長）

徳島県の運賃は、沖縄県と同じぐらいで全国でも1番安い。労働時間を短くして売り上げを伸ばす必要がある。若い人は最低30万円持って帰らないと生活はできない。年配の方は年金をもらいながら来ている人も多く、給料を上げないと運転者は集まらない。長時間労働を短くしてお金を持って帰れるようにしないと今後運転者は集まらないと思う。

○東丸（徳島県タクシー協会副会長）

人材不足の上に高齢化が進み、昼間だけの仕事が多くなっている。タクシーの売り上げは回復しているが、単価的に運転者の賃金を上げたいと思っている。

当社は介護事業もしているが、介護も人材不足の状態である。

今後タクシー事業が魅力的な仕事となるようにしたいと思っている。

○稲井（徳島県消費者協会）

少子高齢化でどの職業も人材不足である。今はすべてのものが値上げになっている。タクシー運賃の値上げは仕方がないと思う。私もタクシーを利用するが、高齢運転者が多いので安全運転に心がけてもらいたい。

私は、高齢者の運転免許証の返納を勧めているが郡部等の高齢者の足がない。運転免許証を自主返納した高齢者への優遇制度を行政と連携して検討いただければ有り難いです。

介護タクシー等も今後利用者が増えると思うので、タクシー会社が工夫してやっていただけたらと思います。

○浦川（徳島県タクシー協会副会長）

警察が運転免許証返納割引の会社を公表しているので、私の会社も1割引きの利用者は増えている。お客さんが割引を実施している会社を選んで利用しているようである。

○小川（徳島県商工会議所連合会）

28年間も値上げしていないとのことであるが、労働条件の改善もあり、燃料も高騰している、適正な運賃転嫁は当然である。

その中で運転者の労働条件が改善されればよい。それにより運転者になる人も出てきたらよいと思う。

○秋川（徳島県観光協会）

運賃値上げには賛成である。28年間運賃が上がっていないとのことであるが人件費、諸経費は上がっている、賃金が上がっても物価も上がっている。適正な値上げが必要と思う。

バス、JRには補助金があるがタクシーには無い。観光協会としては、県外からのお客さんにとってタクシーは徳島のイメージとなる。料金体系の適正化を国に考えてもらう必要があるのではないかと。